



おの ひろし  
大野 寛

しん わ かい  
津和会

### 津市の義務教育学校整備施策を問う

**問** 美里地域では施設一体型小中一貫校から義務教育学校へと施策を方針変更するが、この義務教育学校は平成28年度から始まる全国的に初めての施策であり、いまだ小中一貫教育の実績がない中での選択となる。教育上有益かつ適切であると、どのように判断したのか。また、全市的な教育施策体系等について検討した後の選択が妥当と考えるが、なぜ、今この選択なのか。

**答** 小中一貫教育については、学力向上や生徒指導の面において非常に効果があることから、平成26年1月に基本方針を出し、全市的に9年間を通した一貫教育を進めているところである。この小中一貫教育を進めるに当たり、施設の形態として一体型・併設型・分離型の3つがあるが、今回、義務教育学校が新しく制度化され、これが美里地域における施設一体型の小中一貫教育に合致するものであることから、義務教育学校を選択したものである。

また、現在、学校の適正化に向けた全市的な計画の予定はないが、教育内容、教職員の配置など県と協議しながら、適正な教育が提供できるような環境を整えていきたいと考えている。

### ●その他の質疑・質問●

- 津市こども園整備方針について
- 「合併合意20事業」について
- 獣害対策事業について
- 新津市誕生10周年記念事業等の市民周知について



▲来年度から開校予定の義務教育学校みさとの丘学園



にし やま  
西山 みえ

けん と  
京都クラブ

### 28年度土地区画整理事業特別会計予算から

**問** 津駅前北部の土地区画整理事業については、平成30年度の事業完了が見えてきた。

橋北地区は、志登茂川左岸拡張工事による旧江戸橋の架け替え工事が30年度末に、栗真海岸堤防に関する工事が28年度末に完了するなど、津市の表玄関である津駅と江戸橋駅間の発展により、今後の津市において重要な地点となる。今後の区画整理事業の進め方について問う。

**答** 市内には、住宅や店舗、工場などの用途の混在や狭い道路による生活環境の悪化、防災面からの危険の懸念など、さまざまな課題を抱える密集市街地が存在しており、津駅前北部土地区画整理事業区域の北側もその一つと考えている。

環境改善の手法としては、道路等の公共施設を整備・改善し土地の区画を整える土地区画整理事業や細分化された敷地を共同化し土地の一体的かつ高度利用を図る市街地再開発事業、道路改良による狭い道路の解消などが考えられる。このようなさまざまな手法が考えられる中、地域の課題を解決するため、現在策定中の次期都市マスタープランにおいて地区の特性に応じた市街地整備の方針を検討し、方向性を示していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 教育方針から、新津市誕生10周年記念特別文化財展の内容と今後の文化財の保護について
- 中学校の職場体験学習について、企業・生徒の反応と体験の成果による今後の進め方は
- 児童虐待と子育て支援について、虐待の定義、状況、具体的な対応から未然に防ぐ対策と現場における課題は



▲津市の仏像、光雲作「魚籃観音」と津市文化財高茶屋銅鐸